

平成二十八年二月四日提出
質問第一一四号

尖閣諸島国有化当時の外務省の認識に関する質問主意書

提出者
初鹿明博

尖閣諸島国有化当時の外務省の認識に関する質問主意書

米国務省が公開したクリントン前国務長官の私用メールによると、二〇一二年の尖閣諸島国有化の約一週間前に、当時のキャンベル国務次官補が、佐々江賢一郎外務次官（当時）との会談を踏まえ、「佐々江は中国が国有化の必要性を理解し、いずれ受け入れると信じている」と報告したことになっています。

この報告の通り、当時の外務省は、中国は国有化を受け入れるとの認識を持っていたのか伺います。

右質問する。